



TITLE:

水星の1943年 (1943年の天文年鑑)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

水星の1943年 (1943年の天文年鑑). 天界 1942, 23(259): 11-11

ISSUE DATE:

1942-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168537>

RIGHT:

## 水星の1943年

地球から見てゐて、水星の會合週期は約4ヶ月(精しくは116日)であるから、今1943年も亦ほゞ3回ばかり、宵の星となり、又、曉の星となる。即ち、

- (1) 年初から一月下旬まで宵の星、(2) 二月上旬から四月初めまで曉の星  
(3) 四月上旬から五月下旬まで宵の星、(4) 六月初めから七月末まで曉の星  
(5) 八月初めから九月下旬まで宵の星、(6) 九月末から十一月上旬まで曉の星

- (7) 十一月中旬から年末まで宵の星、

となる。翌1944年の二月初めからは曉天に現はれることになる。

水星の觀測を、日出前や日没後の、低い空に行ふことは甚だ舊式なやり方であつて、現今は、むしろ、白晝に水星面を觀察すべきであるが、それにしても、やはり、太陽からの離角の大きい時機を選ぶのが宜い。従つて、今1943年に於いて、水星面觀察の好機は、一月初め、二月中頃から月末まで、五月初め、六月の中下旬、八月末、十月上半、及び十二月末である。

### 1943年 水星の主要な現象

1月10日 0時：極大離角(東へ $19^{\circ}10'$ )	7月 8日 5時：昇交點を通過す
13日 6時：昇交點を通過す	12日21時：近日點を通過す
16日23時：赤經停留	19日 0時：上合
17日21時：近日點を通過す	23日 3時：日心極北黃緯
25日17時：下合	8月15日13時：降交點を通過す
28日 4時：日心極北黃緯	25日19時：遠日點を通過す
2月 6日17時：赤經停留	29日13時：極大離角(東へ $27^{\circ}10'$ )
19日10時：極大離角(西へ $26^{\circ}25'$ )	9月12日 7時：赤經停留
20日15時：降交點を通過す	15日 4時：日心極南黃緯
3月 2日21時：遠日點を通過す	25日14時：下合
23日 5時：日心極南黃緯	10月 4日 4時：昇交點を通過す
4月 5日 6時：上合	4日17時：赤經停留
11日 6時：昇交點を通過す	8日19時：近日點を通過す
15日20時：近日點を通過す	11日 0時：極大離角(西へ $17^{\circ}55'$ )
26日 3時：日心極北黃緯	19日 2時：日心極北黃緯
5月 1日17時：極大離角(東へ $20^{\circ}25'$ )	11月11日 9時：上合
12日19時：赤經停留	11日12時：降交點を通過す
19日14時：降交點を通過す	21日20時：遠日點を通過す
24日11時：下合	12月12日 3時：日心極南黃緯
29日20時：遠日點を通過す	24日 7時：極大離角(東へ $17^{\circ}0'$ )
6月 6日 2時：赤經停留	31日 3時：昇交點を通過す
19日 4時：日心極南黃緯	31日21時：赤經停留
19日16時：極大離角(西へ $20^{\circ}30'$ )	